



茨城県議会議員

無所属

秋よしかず






県政報告

Vol.1
2025年3月版

つなぐ！つなげる！！秋よしかず

県議会議員に就任してから2年が経ちました。皆様が日々抱える課題や疑問に寄り添い、解決できるよう、これからも日々精進し、県政と神栖市発展のため、尽力していきます。

公約実現にむけて 茨城県議会にて 全力投球！！

- TOPIC 1  地域医療体制の整備促進
- TOPIC 2  岸壁整備促進・荷上げしやすい港へ
- TOPIC 3  農業・水産業の地場産業の振興
- TOPIC 4  特別支援学校の設立
- TOPIC 5  県立高等学校の魅力ある学校づくり

地域医療体制の整備促進

TOPIC 1



神栖市内における
地域医療整備の実態

主要救急・急性期医療機関の常勤医師数 **26人増**
2017年 **42人**→2025年1月 **68人**まで増員

市内診療所の数（開院9施設、閉院5施設）
2018年～2025年1月現在 **4施設増**

県内トップクラスの成長！
更なる整備促進へ
全力投球！！

市と県が連携をし、着実に進んでいる地域医療への取り組みを更に加速！

質問 鹿行医療圏における人口10万人当たりの医師数が、県平均や水戸医療圏、つくば医療圏と同等になるには、
どれだけの医師の確保が必要か。

保健医療部長 鹿行医療圏の人口10万人当たり医師数が**県平均並み**となるためには**295人**、**水戸医療圏並み**となるためには**464人**、**つくば医療圏並み**となるためには**843人**を追加で確保が必要。

提案・提言 **いかなる地域に住んでいようとも、県民が等しく医療の提供を受けられる環境を整備すべきである。**

質問 鹿行医療圏における医師確保に向けて、今後どのように取り組んでいくか。

保健医療部長 現時点において地域偏在が十分には解消されていない。鹿行医療圏で、研修期間中の修学生医師が勤務するためには、地域の教育研修環境を充実させていくことが重要。県では、まずは各医療機関が地域医療構想を踏まえ、教育研修施設として目指す役割や機能を明確にした上で、必要となる医師の確保や施設整備等に係る具体的な計画を示すよう働きかけていく。

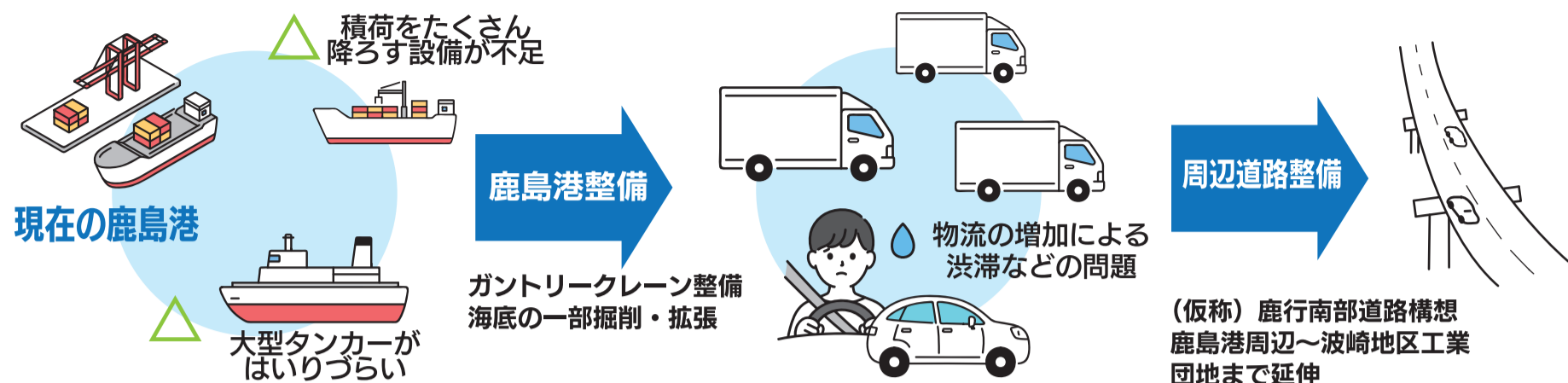
質問 看護師の確保及び偏在の解消に向けて、今後の取り組みは。

保健医療部長 本県の看護師不足・偏在の解消は大変重要な課題であると認識しており、看護職員の養成や離職防止等に取り組んでいる。離職防止については、看護職員の離職理由で最も多いのが、出産、子育てであることから、病院内保育所の運営費の補助や、子育て中も継続して働き続けられる環境整備を支援。さらに、看護職員の離職を防ぐためには、医療機関等が、看護職員の働きやすい魅力ある職場環境づくりを行う必要があることから、定着促進コーディネーターを医療機関に派遣し、離職原因の洗い出しや解決策の助言をし、医療機関等の労働環境の改善を支援。看護職員の養成や離職防止のほか再就業支援や質の向上も含めた総合的な対策に取り組むことにより、確保と偏在解消に努めていく。

提案・提言 **鹿行医療圏の医師、看護師不足は、この地域の課題であり、鹿島臨海工業地帯を支える全ての関係している方々、住民の方々の不安です。コンビナートでは、どれだけ安全に留意しても不測の事態は起こり得ます。命を救う医療スタッフの充足がどうしても必要です。本県の歴史ある重要工業地帯の維持繁栄のためにも、偏在解消に向け取り組まなければならない。**



岸壁整備促進・荷上げしやすい港へ TOPIC 2



これらの課題・重要性をまとめて提案・解決していくことが重要です！

鹿行南部道路構想にあわせた、鹿島港とその周辺整備を連動させる取り組みを！

質問 物流機能の強化で、重要となるのは道路インフラの整備である。現在、東関東自動車道水戸線潮来インターチェンジと鉾田インターチェンジ間の整備が進められており、地元地域においては、利便性の向上に大きな期待を寄せている。一方で、潮来インターチェンジから鹿嶋、神栖方面へつながる道路については、**通勤時間帯など渋滞する箇所が多々ある状況**です。高速道路の計画、国道、県道の路線拡幅やバイパスなど**渋滞の緩和に向けた道路整備**は、地域住民の切実な願いです。さらに、鹿島港の物流機能の強化に当たっては、**道路整備と併せてコンテナ荷揚げ用のガントリークレーンの整備**も必要です。**利便性の高い港湾とするため増設要望の声**があることを踏まえ、ガントリークレーンの増設など検討する必要があるのではないか。鹿島港の物流機能強化に向け、特にインフラ面について、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

土木部長 鹿行南部地域の発展を図るため、国、県、関係市及びN E X C O東日本により構成される（仮称）鹿行南部道路検討委員会が、2022年1月に設置され、道路構想の具体化に向けた基本方針の検討が始まったところであり、県では、この調査、検討に積極的に協力していく。さらなる港湾機能の強化に当たり、**貨物集荷などによる鹿島港の利用促進に取り組むことが重要**であることから、地元市と連携し、鹿島港定期コンテナ航路利用助成制度による荷主や船社に対する助成やセミナー開催など、ポートセールスを行い、新規利用や大口荷主利用の促進に努めている。これらの取組を通じて貨物集荷に努め、今後のコンテナ貨物の集荷状況などを踏まえ、ガントリークレーンを含めた港湾機能の拡充を検討していく。県としては、引き続き関係機関と連携しながら、**道路ネットワークや鹿島港の機能強化**に取り組む。

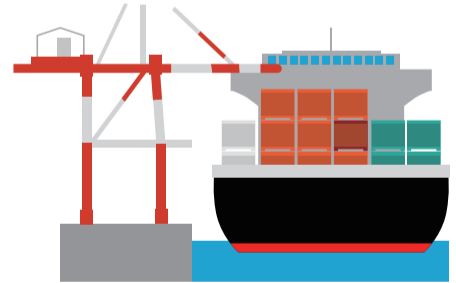
提案・提言 鹿行南部道路構想、非常に斬新で大きな期待。計画・実施と進むよう願う。また、ガントリークレーンについて、行政側は鹿島港自体の荷物量が現状少ないといった意見もある。どちらが先か（荷受の量を増やすか・荷受出来る体制を強化するか）という話になってしまうが、**必要設備の強化増設をしてこそ荷受の営業ができる**と考えている。県のほうでは、先行投資のほうも視野に入れていただきたい。

2023.6 予算特別委員会から抜粋

引き続き設備強化をして、利用促進できるよう提案・提言していきます！

Question
ガントリークレーンって!?

船のコンテナを積みおろすために使うクレーンのことです。大量の荷物を一度に移動させることができるため、作業効率を大幅に向上させることができます。1時間に約30～40個のコンテナを取り扱うことができるそうです。



Point
数を増やせる広い港!

港湾区域や臨港地区が全国の中でも広い規模の鹿島港。現在ガントリークレーンは1基での運用ですが、増台できれば取扱貨物量も増やせます。

質問 県が描く鹿島港へのガントリークレーンの増設整備について、今後の具体的計画や将来ビジョンについて伺う。

土木部長 ガントリークレーンの増設は、利用者ニーズや貨物の動向など、需要見込みを踏まえる必要があることから、貨物集荷及び定期コンテナ航路の増便など、鹿島港の利用促進に取り組むことが重要と考える。県としては、地元市などと連携し、カーボンニュートラルなど社会情勢の変化を的確に捉え、引き続き貨物集荷に努め、今後のコンテナ貨物の集荷状況などを踏まえながら、ガントリークレーンの増設を含めた港湾機能の拡充を検討していく。

質問 鹿島港の物流機能の強化に向け、東関東自動車道水戸線や周辺道路における現在の整備状況、(仮称) 鹿行南部道路の検討状況について伺う。

土木部長 (仮称) 鹿行南部道路については、2021年7月に国において策定された**関東ブロック新広域道路交通計画に構想路線**として位置づけられた。その後、2022年1月に鹿行南部地域における道路構想の具体化に向けた基本方針の検討を行うため、国、県、関係市及びN E X C O東日本により構成される（仮称）鹿行南部道路検討委員会が設立され、第1回検討会では、鹿行地域の計画、鹿島港の状況、鹿島港と高速道路の利用状況について確認された。さらに2023年8月には、第2回委員会が開催され、道路交通課題、上位計画との位置づけ、配慮すべき事項を踏まえ、おおむねの起終点及び考慮すべきコントロールポイントを整理し、令和5年度中を目標に基本方針の策定を進めることで合意形成がなされた。県としては、引き続き、鹿島港の物流機能の強化に向け、東関東水戸線の整備推進について、国やN E X C O東日本に対して強く働きかけるとともに、(仮称) 鹿行南部道路については、関係機関と連携し、国の調査、検討に積極的に協力していく。

2023.12 一般質問から抜粋

(仮称) 鹿行南部道路で期待！鹿島港周辺の魅力ある安全・安心な港公園へと改修！

●港公園の塔を含めた施設の老朽化に伴い、一部施設への立入が制限中（2023.12～）される中、要望・提言してきました。

提案・提言 県では、(港公園の) 塔の修繕に向けた調査、検討を進めていると聞いている。このままの状況が続くことは、茨城県の損失とも考えるべきです。**憩いの場やデートスポットとしての期待及び防犯上の観点からも、早期の利用再開を要望するとともに、今後の港公園の在り方や安全・安心の確保などについても、神栖市とよく調整をしながら検討していただきたい**と思います。

質問 港公園を大規模修繕していく中で、災害等により同じようなこと(大規模修繕)が繰り返されるのは、改善になっていない。そういった中で、そこに強度改善という部分について、現在、何か検討していることがあるのか伺う。

都市整備課長 耐震性などは一旦確認をして確保されている。現在建設をしてから50年ほど経過している。コンクリート構造物の耐用年数や、臨海部にある立地特性などを踏まえ、これから長寿命化を併せて行うことが必要になってくると思う。

質問 港公園には駐車場もある。非常に照度が暗く防犯上の観点からも、今回の改修に当たっては、例えばデートスポットになるようなきれいな装飾といったことも視野に入れて、照度を明るくするという事は、防犯上の観点からも有効なのではないかなと思う。

都市整備課長 若い方がデートスポット等で利用し夜景を楽しむといったことも神栖市から聞いている。実際、港公園全体の照明のLED化を進めており、全体の45基のうち、今41基まで完成している。残り4基がその駐車場の部分になっており、令和6年度にその駐車場の部分のLED化をして、ある一定程度の公園としての照度は確保されていく。提案のあったその装飾につきましては、これから実施設計に入るので、参考にして検討を進めてみたいと思う。

2023.12 土木企業立地推進委員会から抜粋



地域の方をはじめとし、観光ツーリズムなど老若男女問わず、幅広い展開ができる「港湾公園」となるよう期待します！

工場夜景などフотスポットとしても人気の公園整備に今後も注目していきます。

農業・水産業の地場産業の振興 TOPIC 3

ブランド化を進め収益アップを！漁業並びに水産業の魅力度アップを！

質問 養殖産業の振興に係る、これまでの成果と今後の対応について伺う。

農林水産部長 5年間の取り組みで成果を得たが、これまでは芽出しの時期であり、今後は養殖業を根付かせる時期。マサバ養殖の商業化については、高品質なマサバを効率的に生産する技術開発に加え、生食が可能で品質が高い**「常陸乃国まさば」のブランド化**を進め、**養殖事業の収益性確保**を図る。参入しようとする民間事業者には育成技術の指導や種苗の安定供給などの伴走支援を行う。養殖相談員が養殖業に関心のある事業者の相談やICT（情報通信技術）の有効性などの情報提供を行うとともに、スタート経費支援でICTを導入する事業者を優先的に助成するなど、効率的な養殖経営に取り組む事業者を確保していく。

提案・提言 漁業並びに水産業が高等学校新卒者への魅力ある職業のひとつとしても、**活発にアピールをしていける状況づくりを、なんとかできないものか**と思う。**新規就労者を含めた漁業並びに水産業の新たな担い手の確保**に対する県の方策を打ち出してほしい。



常陸乃国まさばの情報はこちら

物価高騰で、対応に苦しむ農家への環境整備や支援を提言！

提案・提言 近年はロシアによるウクライナ侵攻、円安の進行などの影響により、原材料価格等が高騰している中、経費に占める燃料費の割合が高い施設園芸は、燃料価格高騰の影響を特に受けやすくなっている。ピーマンにおいても、加温用燃料の経費が高い割合を占めており、経営を圧迫している状況。**対応に苦しむ地元の農家から、支援を求める悲痛な声が届いている**。儲かる農業の実現を掲げている一方で、価格転嫁が難しいと感じている部分もある。今まで以上に燃料価格高騰に苦しむ施設園芸農家を支援し、**希望を持って、継続して営農できる環境を整えていく**必要があり、県においても、**更なる支援を願う**。

2024.12 一般質問から抜粋

みなさまの「今」「必要」な声を、引き続き県政に届け提言していきます！



特別支援学校の設立

TOPIC 4

特別支援学校の新設を神栖の地で！

質問 2023年5月18日に、障害のある子どもの保護者の皆様などで立ち上げた神栖市の特別支援学校を求める会から、市内への特別支援学校の新設を求めて集めた約1万人の署名と共に要望書が教育長へ届けられた。その際、教育長からは、通学時間は課題として認識していると御回答・プレス発表もあった。これを受け、私は神栖市の石田市長と協議して、市長はどのようにお考えかと確認したところ、神栖市としてはあくまでも完全新設を希望しているとの見解を伺った。こうした地元からの切実な要望を踏まえて、県においては、今後、神栖市における特別支援学校の新設も含めて、どのように対応していくのか伺う。

教育長 県としては、このような児童生徒の遠距離通学の改善に向けて、**特別支援学校の新設も検討**の土俵から除外することなく、**神栖市と十分に連携を図りながら**取り組んでいきたいと考えている。

提案・提言 私のほうから何度となく強く申し上げたいのは、**神栖市政としても完全なる新設を願っている**という部分であります。ぜひとも御検討のほど、よろしくお願ひしたい。



2023.6 予算特別委員会から抜粋



2023年8月に「2027に新設開校を目指す」と決定」



県立高等学校の魅力ある学校づくり

TOPIC 5

地域の特色を活かした・地域で必要な人財育成を！

質問 県では、県立高等学校改革プランを策定し、**地域の中の学校として地域の人財を地域で育成**すること、新たな価値を創造する起業家精神を育成することの2点を、これからの県立高等学校の果たすべき役割として掲げ進めている中、県立高校改革プランの進捗と課題について伺う。

教育長 人手不足の深刻化など、社会的な課題が山積する時代の中で活躍していく人材を育成するためには、そうした課題の解決に挑戦する力が大変重要であると考えている。

質問 高等学校における看護・福祉分野等の人財育成に向けた取組について、職業学科の魅力向上等も含めて伺う。

教育長 県としては、高等学校における**看護・福祉分野をはじめとした職業学科の魅力向上やその発信**に努めるとともに、**地域で活躍する人材の育成**に取り組んでいく。

提案・提言 例をあげると、以前は看護専門学校で看護師資格を取得する方が多かった。現在は、大学の看護学部に行きたいと考える方が大分多くなってきたというふうにいる。多様性を求める現実社会の中で大変難儀だが、何とか**看護・福祉の分野での人材確保**がより一層できないものか、いろんな観点から日々探究していただきたい。

質問 **地域の特性・特色を生かしたキャリア教育の推進**について、私の地元神栖市は、鹿島臨海工業地帯が整備され、170社を超える企業が集積し、コンビナートを支え、メンテナンスを行う際に必要な足場工事や配管工事などを担う人財が不足している。地元にはこうした**職人を目指す方が増えてほしいという願ひ**がある。そこで、民間企業、その他団体との連携、協働を図りながら、それぞれの地域の特性や特色を生かしたキャリア教育が必要であると考えているが、所見を伺う。

教育長 これらの企業の事業を支えるための足場工事や配管工事などを担う職人を育成することが必要で、**県と建設業協会とが連携**することにより、**土木系や建築系のインターンシップを実施**。加えて、建設業への理解を一層深めてもらうために、建設業の合同企業説明会について周知し、今後も、これらの関係機関と連携した取組により、人材確保につながるよう努めていく。県としては生徒の勤労観や職業観を育み、自己実現を支援するため、企業や関係団体等と連携、協働しながら、**地域の特性や特色を生かしたキャリア教育の推進**に取り組む。

提案・提言 本県はビジネスチャンスもあり、個々の技術や知識を磨いていくことによって夢をかなえられる地域である。**多種多様な中小企業の方々が高校生に、こういった職業であると周知させる場を提供できていない部分を、官民連携で推し進めていただきたい。**

2024.3 予算特別委員会から抜粋

神栖市のこと茨城県のこと、秋よしかずにお聞かせください！ 市民・県民の皆様からの声をこれからも県政に届けていきます！

あき 秋よしかずプロフィール

昭和54年10月30日生まれ(45歳)

出身校

旧波崎町立須田小学校
旧波崎町立波崎第三中学校
千葉県立佐原高等学校
明治大学商学部商学科(体育会硬式野球部所属)

地域活動

神栖市消防団第39分団 所属
千葉県立佐原高等学校 野球部監督(H.16~17)

主な職歴

平成16年~合併までの間、旧波崎町役場に勤務
合併後~平成30年：神栖市役所に勤務
(総務部・産業経済部や茨城県庁派遣などに従事)
令和2年：神栖市議会議員初当選
令和4年：茨城県議会議員初当選
土木企業立地推進委員会 委員

発行元
連絡先

秋よしかず事務所

〒314-0254
神栖市太田 1539-14
TEL: 0479-48-0345

URL: <https://akiyoshikazu.com>



Facebook



X



Instagram